

鶴見区区政会議 平成28年度第3回つる魅力向上部会

1 日時

平成28年11月7日（月） 19時00分～20時01分

2 場所

鶴見区役所 4階 402会議室

3 出席者

（委員）

大原副部会長、木村委員、佐々木委員、猿渡委員、柴田委員、田中（潔）委員

（区役所）

萩副区長、野村総務課長、奥本魅力創造課長、阪東広報戦略担当課長、
中村窓口サービス課長、石川総務課担当係長、大川魅力創造課担当係長、
山本魅力創造課担当係長、大山魅力創造課担当係長、大田魅力創造課担当係長、
西久保窓口サービス課担当係長、定兼窓口サービス課担当係長

4 議題

1. 平成29年度鶴見区運営方針（素案）について

5 議事

開会 19時00分

○石川総務課担当係長 ただいまから鶴見区区政会議平成28年度第3回つる魅力向上部会を開会させていただきます。本日、柴田委員におかれましては少し遅れるとご連絡いただいております。

私、本日の司会を務めさせていただきます総務課担当係長の石川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、萩副区長よりご挨拶申し上げます。

○萩副区長 皆さんこんばんは。本日は夜分にもかかわらず、つる魅力向上部

会にご参加いただきましてありがとうございます。本日は平成29年度の鶴見区運営方針の素案についてご議論いただきまして、ご意見を頂戴しながら運営方針を完成していきたいと思っております。

本日は防犯・防災部会が同時に開催されます関係上、区長・副区長と分かれて出席させてもらっていますが、第2部のフリートーキングでは交代いたしまして、こちらに区長がまいりますのでよろしくお願いいたします。

それでは会議を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○石川総務課担当係長 本日、岡本部会長は所用のため欠席とのご連絡をいただいております。それでは早速ではございますが、これより議事進行を大原副部会長にお願いしたいと存じます。

大原副部会長よろしくお願いいたします。

○大原副部会長 大原です。こんばんは。本日は今年度3回目の部会ということでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題の平成29年度の鶴見区運営方針の具体的取組みの素案について、事務局から説明をお願いいたします。

○大川魅力創造担当係長 それでは資料に沿いまして私のほうからご説明いたします。魅力創造課魅力創造担当の大川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、資料1でございますが、平成27年度からの運営方針の具体的な取組みを記載しております。四角い枠の横にあります矢印は、これまでの区政会議全体会や部会でいただきましたご意見でございます。

また、取組みの中で「NEW」の印がついているものにつきましては新たな取組みとなりまして、星印のついているものにつきましては、内容の拡充といえますか、バージョンアップやリニューアルといったような内容のものとなっております。それでは経営課題1 魅力あふれるまちづくりについてから説明させていただきます。

平成26年度にいただきましたご意見、鶴見区の歴史を学ぶ機会を、こちらを反映

させていただきました27年度の取組みが、冊子「発見！！つる魅力」の発行及び区内全世帯への配付です。また、小学校3年生を対象に、冊子の内容を再編集し、副教材「つるみ10のたんけん地図」を発行いたしまして、各小学校で保管していただくように配付いたしました。また、27年度から新たな取組みとしましてつるみワールドフェスタ、トワイライトコンサートを開催しております、28年度につきましても引き続き開催しております。

続きまして、平成27年度の区政会議でいただきましたご意見、イベント開催に区民や地域、民間企業との連携を、というご意見がございました。こちらを反映させていただきましたのが星印のついている取組みでございます。平成27年度に開催しましたつるみブランドフェスティバル、鶴見光の花栈敷2015をバージョンアップさせて実施するものでありまして、12月10日土曜日開催予定のTSURUMIウィンターフェスティバル、そして来年3月25日開催予定のTSURUMIスプリングフェスティバルとなります。今回、イベントでの飲食の出店者を公募させていただきました、地域団体の皆様や地域の事業者の皆様にご協力いただけることとなり、ともにイベントを盛り上げていただけることになっております。

また、ウィンターフェスティバルにおきましては、協力企業の公募ということも実施いたしました。結果、株式会社J:COM様にご協力をいただけることとなりまして、夜間だけではなく昼間も楽しんでいただけるようなイベントの規模の拡大、内容の充実を図ることが可能となりました。スプリングフェスティバルにおきましては、区民ボランティア「楽園会議」のメンバーの方から広がったボランティアの方々のご協力によりまして、鶴見緑地で音楽イベントを開催する予定となっております。

続きまして、イベント時にシャトルバスの運行を、というご意見もいただきました。こちらにつきましては、区民の皆様が一番多くご参加・ご来場されます鶴見区民まつりにおいて試行運行を実施いたしました。鶴見緑地から遠い地域にお住まいの、緑地への交通手段が少ない高齢者などの、イベントバス利用ニーズを調査させていただき

ました。このほかに新たな取組みとしまして、「鶴見緑地写真彩」という、鶴見緑地の自然素材を使ったアート作品づくりと写真撮影を楽しむというイベントを、小学生の親子対象に、この11月19日土曜日に実施する予定となっております。

続きまして、今年度の区政会議の部会でいただきましたご意見、「発見！！つる魅力」の有効な活用を、こちらを反映させていただきまして平成29年度実施予定としておりますのが、つる魅力検定の実施でございます。こちらは資料の下のほう、トピックスにも挙げさせていただいておりますが、前回の部会でも、こちらの検定に積極的にかかわりたいなど非常にありがたいご意見を、委員の皆様からいただいたところでございます。前回の部会でも少し触れさせてはいただきましたが、ぜひつる魅力向上部会の委員の皆様積極的にプロジェクトといいますか、検定をつくっていくにあたってご参画をいただいて、問題を考えたりとか企画段階からともにつくり上げていただけたらと考えている次第であります。ぜひともよろしくお願ひしたいと思っております。

また、こちらの検定に関しましては、鶴見区のエキスパートとなる職員の人材育成ともつなげて取り組むことも行っていきたいと考えております。このほか、新しい取組みとしまして（仮称）鶴見アートフェスタがございます。こちらは平成28年度から開催しておりますトワイライトコンサートにご出演いただきましたアーティストの皆様が一堂に会するコンサートとしまして、平成27年度、28年度も来年3月4日に開催を予定しておりますスプリングコンサート、こちらを拡充させまして、音楽以外の分野でも活躍されているアーティストの方々の発信の機会や、区民の皆様が身近に文化や芸術に触れる機会をつくりたい、区全体で文化芸術を育む土壌づくりに取り組みたいという思いから考えたものであります。アーティストの皆様とともにつくり上げていくような仕組みを検討したいと思っております、そういう形で取り組んでいきたいと考えております。

このほか、つるみワールドフェスタ、楽園会議の企画イベント、トワイライトコン

サート、ウィンターフェスティバルなどにつきましては、引き続きボランティアの皆様、地域の皆様、民間企業とも連携協力を図らせていただきながら、事業の実施に取り組んでまいりたいと考えております。

資料2についてですが、こちらは区政会議でいただいた意見を一覧にしているものでございます。ただいまの説明の中で触れている部分もでございますので一部割愛をさせていただきますが、5番の鶴見緑地国際庭園の活用について、こちらは対応という欄に記載させていただいておりますとおり、これまでも整備や活用につきましては所管部局に働きかけてきておりました。所管部局のほうで平成28年度から改修工事を計画的に実施する予定となっております。引き続き活用策につきましては、場面場面で働きかけていくなど対応をしていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

続きまして、「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進についてご説明いたします。よろしくお願いいたします。

○山本魅力創造担当係長 魅力創造課魅力創造担当の山本です。どうぞよろしくお願いいたします。

では、経営課題1 魅力あふれるまちづくりの2番目、「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進についてご説明させていただきます。

26年度の区政会議におきまして、鶴見緑地の魅力向上を、というご意見をいただいております。27年度新たな取組みということで、鶴見緑地でのホタルの幼虫放流を始めたところです。こちらは区民をはじめ、鶴見緑地の来園者の方々に、自然の中で多くのホタルが飛び交う姿を觀賞して楽しんでいただくことで、自然の大切さや、その鶴見緑地がある鶴見区の魅力の向上を目的として、地域団体の鶴見にほたるを飛ばそう会、また大阪鶴見ライオンズクラブ、区内の幼稚園・保育園と連携して実施を始めております。

また、環境フェスタ、こちらは子どもたちや子育て世代を対象として、わかりやす

く親しみやすい内容で、親子で楽しみながら環境について学んでいただくため実施しており、27年度からは企業と連携して実施を行っているところでございます。

27年度の区政会議におきまして、種から育てる地域の花づくり活動において、緑地にも新たに花づくり広場を整備し、ボランティアが活動しやすい環境づくりを、というご意見をいただいたところです。今年、28年度に、種花活動におきまして、今津の花づくり広場に加えて、鶴見緑地の西部コミュニティ広場の東側の一部に新たな花づくり広場を増設し、この10月から今津と緑地の両方で花づくり活動を行っているところです。また、環境フェスタは、来年の1月に区民センターの小ホールで小学生とその保護者を対象に、大阪ガス株式会社さんの協力をいただきながら、エコ・エンジェルセミナーというイベントを開催予定となっております。こちらは、地球温暖化問題などの環境問題につきまして、クイズや実験によって、ご家族や親子で楽しみながら学んでいただき、地球環境の大切さを感じて、理解を深めていただく内容で実施を考えております。

続きまして、今年度の区政会議の部会でご意見をいただきました、資料2のナンバー3に記載がございますが、地域の種花活動のボランティアの皆さんと子どもたちが一緒になって、種花活動で育てた花を植えて育てる機会を広げていってはどうか、というご意見をいただいております。来年度に、種から育てる地域の花づくり活動におきまして、地域の種花活動ボランティアの方々と子どもたちが交流しながら花を植える取組みが広がるよう、ボランティアの方々のご意見をお聞きし、植え込み場所の管理者とも調整して、実施をしていきたいと考えております。また種花活動につきましては、春から夏にかけてと秋から冬にかけての年2回の活動を行っておりますが、今津と緑地の花づくり広場2カ所で本格的に実施するという形になっております。また、環境フェスタにつきましても、引き続き来年度も企業と連携して実施していきたいと考えております。

また、環境学習講座の開催は、環境に優しいライフスタイルをテーマとした学習会

を実施しております。家庭や地域でのエコ活動の実践につなげることを目的として、主に体験型の講座を実施していきたいと考えております。

また、鶴見緑地でのホタルの幼虫放流は、星印のマークをつけておりますが、拡充ということで、29年度、引き続き幼稚園・保育園とも連携して実施していきたいと思っております。その他にも、区としましては、放流場所や放流時期など、公園事務所や指定管理者などと調整しながら幼虫放流を拡充して実施して、ホタルの生息の定着を図り、新たな鶴見緑地の魅力向上につなげていきたいと考えております。

最後に29年度のトピックスということで、先ほどもご説明いたしました。来年度から今津と緑地の花づくり広場2カ所で種花活動を本格実施していきます。また、ボランティアの方々のご意見をお聞きしながら、今後、活動のやり方や実施体制などを検証しまして、より一層ボランティアの皆さんが参加しやすい環境づくりを進めていきたいと考えております。また、新たなボランティアの増加をめざしまして、より一層、種花活動のPRにも力を入れていきたいと考えております。

「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進につきましては以上です。

○定兼窓口サービス課担当係長 それでは経営課題6の区役所力の強化ということで、私は窓口サービス課住民登録担当の定兼と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

項目としては平成28年度の窓口サービスの向上、快適な窓口サービスの提供ということで掲載させてもらっているものなんですけれども、具体の今年度取組みとしては、各種研修であったり、窓口アンケートの実施・公表、案内表示板等のわかりやすい整備であったり、保健福祉課の授乳スペースの整備、あと、まだ住民情報だけなんですけれども、混雑予想のホームページの掲載ということで、どうしても住民情報のほうは月末であったりとか週初めであったりとか、そういった混雑というところが偏るというか集中する傾向がありますので、それぞれの混む時期とかを周知することによって、お客様の分散が図れて、結果的にはお客様の待ち時間も軽減を図れてサービ

ス向上につながるということで、ホームページ等で掲載させてもらっているものになります。あとは証明書の発行業務においていろんな各種届け出、証明書の発行等ございますけれども、そういった業務フローの見直し等を図らせてもらって、実際、申請から発行までの時間の短縮を図ることができました。一例で言いますと住民異動届、証明書、転入の届け出、住民票の発行の場合は、平均の値にはなるんですけど、5分間の待ち時間を減らすという効果も図ることができました。あとは、窓口サービスの保険年金は3階になるんですけども、住民情報は1階ということになりますが、3階の保険年金につきまして、テレビの設置ですとか、受付のローカウンター化、お客様に立ってではなく座っていただいております。それを聞いて、さらなる拡充ということで、当然、業務フローの見直しというのは常に行っていて、窓口アンケートなどを実施して、さらなる快適な窓口サービスの向上を図ってまいりたいと考えています。今、ちょっと説明させてもらったのは窓口サービス課の住民情報と保険年金という1階と3階の窓口になるんですけども、当然区役所には各種福祉関係の保健福祉課、保健福祉センターの関係の窓口対応もございますので、そういった各課との連携ということをさらに深めていって、市民サービスの向上につなげていきたいというふうに考えております。あと、下のトピックスにも書かせてもらっているんですけども、窓口でのタブレット型端末機による手話通訳ということを新たに設置したいと考えております。また、簡単な日常会話ができるよう職員のスキルアップも図っていきたいと考えております。先ほども説明させていただきました担当部署との連携強化については、区役所に各種手続き等の窓口等がございますので、お客様にわかりやすい形での手続きをめざしてまいりたいと考えております。来年度は保健福祉課、ほぼ区役所の窓口というような形になるんですけど、各課との連携強化に取り組んでまいりたいと考えております。

資料2のほうですけれども、ナンバーの6と7になりますが、6の今回いただいていたのは待ち時間の活用ということになるんですけれども、ここでの主な意見としては転入届出時において各地域の案内をやったらどうかということでご提案をいただいていたことなんですけど、現在、鶴見区内に新たに家や世帯を設けた人、主に転入者ということで、市外や他区から変わってこられる方がおられるんですけれども、鶴見区に引っ越して来られた方については色々な各種案内をご用意させていただいており、転入者セットとしてまとめて転入時の届け出の際にお渡しさせてもらっています。その転入者セットの中に、地域活動協議会等を紹介するチラシとかも新たに入れさせてもらうということは可能ですので、さらにそういった地域情報の提供に取り組んでまいりたいと考えております。

7番の鶴見区コンシェルジュですけれども、鶴見区のことはこの人に聞けばいいというエキスパートな存在の職員がいればいいのではないかというご提案について、先ほども説明させていただきましたが、つる魅力検定に職員が積極的に参加することによって、我々職員が鶴見区のエキスパートとなるような、そういった職員の人材育成につなげていくというふうに考えております。

私のほうから窓口サービス向上の件については以上です。

○大田広報戦略担当係長 魅力創造課広報戦略の大田といいます。経営課題6の平成29年度の2番の住民主体の区政運営の1番と2番について説明させていただきます。

事業としましては以前より実施しておりました内容でございますが、平成29年度より運営方針の中に新たに記載させていただきました。多様な区民の意見やニーズを適切に捉え、区民の参画を得ながら、区の特性や地域実情に即した住民主体の区政運営の実現をめざします。

具体的取組みとして、まず(1)区民のニーズに適切に対応する区政運営といたしまして、1つ目に区政会議、全体会及び専門性を深めるために各部会を開催し、区政

運営や区で実施される事務事業についてご意見や評価をいただいています。2つ目に、無作為抽出した1,500名の区民に対して、年4回区民アンケートを行います。

次に(2)区民に身近な区役所づくりといたしまして、区民にとって区役所が身近な総合窓口として、区民が抱えるさまざまな課題に対して、専門的な相談もできる窓口として各種専門相談を実施しています。また、区役所が、区民から寄せられる要望や意見について、その内容に応じて関係局につなぐなど、または市政以外の内容に対しても必要に応じて情報提供できるように区役所版FAQを作成し、随時内容について更新し、職員間でも情報共有をしていきます。下の29年度のトピックスについて、区役所での専門相談の充実といたしまして、まず弁護士による法律相談、個人経営者のための経営相談、就労につくまでの適性或履歴書の書き方などが相談できる就労相談、行政書士、司法書士、宅地建物取引士などによる専門相談を定期開催します。

また次に、区民アンケートの実施と反映といたしまして、無作為抽出した鶴見区民1,500名に対し、年4回、6月と9月は各テーマを決めて、11月と12月は運営方針などについて区民アンケートを実施し、その結果をホームページなどに公表し、また各事業に反映できたものについては広報紙などでPRしていきます。

2番については以上です。

○大山広報戦略担当係長 続けて、私、魅力創造課広報戦略担当の大山と申します。

2の積極的な情報発信の推進についてご説明させていただきます。26年度の区政会議の皆様からのご意見として、区政に興味のない方にも区からの広報に気づいてもらう機会を増やすというご意見をいただきました。こちらのご意見をいただきまして、平成27年度には鶴見区内に61基ございます鶴見区掲示板、こちらに月2回、ポスターやチラシ等の貼りかえを行うということで掲示をしております。また、小学校についてはイベントや区政情報等の発信ということで、区内の小学校の全小学生に対して「つるみっ子だより」というのを毎月発行しております。8月は夏休みなので発行しておりません。こちらは全国広報コンクールで、広報企画入選ということで評価を

いただいております。また27年度の区政会議の中で、つるみっ子だよりを市立小学校以外の小学生や保護者にも発信したほうがいいのかというご意見をいただきましたので、28年度にはホームページはもちろん掲載しておりますけれども、つるみっ子だよりを区内の掲示板61基にも毎月貼り出しを行い、また区内の地下鉄の駅構内、またJRの駅構内にも貼り出しをしております。またショッピングモール（イオンモール）などにもつるみっ子だよりを掲載しております。

続いて、前回の区政会議のこちらの部会で、広報紙を読んでもらえるよう積極的なPRをもっとしたほうがいいのかというご意見をいただきまして、29年度の実践として、上から2つ目のところですが、青色防犯パトロールカーや公用車などを活用して、積極的な広報活動の実施を行うということを実践として挙げております。マグネットシートや音声アナウンスなどを通して、毎月1日から4日の間に広報紙を発行していますが、皆様のお手元に届いたところには広報紙についてのPRをしつつ、またほかのイベントや区政情報についてもいろいろPRをしていきたいと思っております。

また、ホームページの全面的リニューアルについて29年度、本格稼働いたします。こちらは来年の1月にリニューアルする予定ですが、本格稼働として29年度で挙げさせていただきます。

トピックスのところには、ホームページの全面リニューアルということで挙げさせていただきます。今、鶴見区役所のトップページはいろいろなコンテンツが並んでおりまして、ちょっと見にくいところがございますので、もう少しすっきりと見やすいトップページ画面となるようにデザインしております。また、コンテンツの分類が組織別に分類されておりまして、区役所の内部の職員にはわかりやすいのですが、訪問者の立場に立った分類になるように、また検索しやすいコンテンツ分類となるように全て変えております。またスマートフォンでも閲覧しやすい表示となるようにデザインしております。

以上です。

○大原副部長 それでは、ただいまいただきました説明についてのご質問・ご意見等がありましたらよろしくお願いいたします。

早速、私、伺っていいですか。経営課題1について教えていただきたいんですけども、今回、平成29年度に対して取り組まれる方向性についてなんですけれども、例えば今まで27年、28年度まだ行われている内容もあるんですが、29年度に対して方向性、例えば広報に関してはこういった方向でやっていこうだとか、イベントについてはこういった世代層に関しても取り組んでいこうだとか、何か考えというのがそれぞれのイベントには、企画にはあるかと思うんですけども、そういったところの方向性について教えていただければありがたいんですけども。

○大川魅力創造担当係長 各種イベントを実施しておりますので、そのイベントごとに対象というのは異なってくるかとは思いますが、ただ、魅力創造の使命といたしましては、区の魅力創造・魅力発信というところが大きくなってまいりますので、やはり対象というのは広く、広報も広くということが一番求められているところかと思っております。イベントによりましては、楽園会議の企画イベントなどは子どもを対象にしたもの、やはり子どもがキーワードとして取組みの中核となっておりますので、子ども対象ということになってきますけれども、それ以外はどの世代の方にも楽しんでもらえるようなということをコンセプトに考えて、イベントの企画をしていきたいというふうに思っております。広報に関しましては、これまでもできる限りの手は尽くしてきているつもりなんですけれども、まず広報紙、ホームページ、Facebook、これはもうもちろんのことなんですけど、地下鉄の構内放送、車内放送、あと大きなイベントになってまいりますと交通局とPR連携が可能になりますので、全駅でのポスター・チラシの配架などにも取り組んでおります。昨年度、今年度に関しましては、12月の「光の花栈敷」は角川の関西Walkerにも少し掲載をいただいたりというようなことで、できる限りの手段をとっていろいろ模索しながら取り組ん

でおります。イベントに関してはそういう観点でたくさんの方に、世代を問わず愛着を感じていただけるような取組みをまずは考えたいというところと、広く発信するというところを考えて取り組んでおります。そんなところで大丈夫でしょうか。

○大原副部長 ありがとうございます。

○田中（潔）委員 昔から、今の続きになるんですけど、私はウォッチャーとしてできるだけこういうフェスティバルとかフェスタに参加させていただいてるんです。その中で感じることと今のお話となんですけどね、やはりそれぞれのイベントが非常に私から見たらすばらしいと、よくやっけていただいていると思います、いつも。今のお話ではやっぱり集客力いうんですかね、広くと言われましたけども、集めると、たくさん来てもらうと、そういうことが1つのイベントをよりよくできると、そういうふうに私は思うんです。だからいかにしてその集客力を高めるかと。その1つとして、来られている人にちょっと話聞きますと、守口とか門真市から、鶴見区ですから守口市も入っているんですね、だから来られているわけですね、たくさん。だから鶴見区の区役所のイベントかわかりませんが、そういうところへもちょっとお声がけさせていただいたらどうかと。要するに守口市役所とか門真市役所とか、もちろん鶴見区が1番大事なんですけど、でもそういうところへ声かけていただいてもどうかなと思いますけど。

○大川魅力創造担当係長 ありがとうございます。そちらにつきましては門真、守口、大東、鶴見区以外の23区全てにポスター・チラシを送り、配架のお願いをしております。守口市は教育文化施設にもポスター・チラシを配架していただいております。特に「光の花栈敷」は夜の実施ということもありますので、やはり子どもたちへの注意喚起なども勘案し、情報提供をさせていただいております。ありがとうございます。

○大原副部長 皆さんほかにご質問はありませんか。

柴田さんお願いします。

○柴田委員 ホタルの放流ってありましたね、あのホタルはどこから求められているんですか。買ってはるんですね。

○山本魅力創造担当係長 そうですね、ホタルの幼虫を成育している事業者がございまして、そちらのほうから。

○柴田委員 そちらは区内ですか。

○山本魅力創造担当係長 いや、鶴見区内ではないですけども、兵庫県にホタルの幼虫を成育している事業者がありまして、そちらのほうから納入をしてということですよ。

○柴田委員 地域で、小学校にも放流するんですけど、それが高いなという話を担当した人が言われていたので、どんな感じかなと思って、ちょうど今話が出たんで。多分一緒でしょうね、求めるところはね。

○山本魅力創造担当係長 そうですね、鶴見小学校も、鶴見にほたるを飛ばそう会の地域の皆さんが「ほたるの夕べ」というのをされていらっしゃるかと思いますが、鶴見緑地のホタルの幼虫放流も、鶴見にほたるを飛ばそう会と大阪鶴見ライオンズクラブさんと連携してやっております、鶴見にほたるを飛ばそう会が以前からかわりのある事業者さんから納入しています。

○大原副部長 僕もちょっと興味があったんですけど、えさになる虫ありますね、あれも一緒に放流するんですか、それともいるんですか。

○山本魅力創造担当係長 カワニナは鶴見緑地の緑のせせらぎに生息しておりますので、放流自体はホタルの幼虫を放流しています。

○大原副部長 カワニナってきれいな水じゃないと育たないとかじゃないですかね。そうでもないの。

○山本魅力創造担当係長 そこまではわからないのですが、カワニナが生息していないとやっぱりゲンジボタルは生育しないということで聞いています。

○大原副部長 そうなんですね。ありがとうございます。

○猿渡委員 確におっしゃるとおり、ちゃんと出てくるのかなってというのが。

○木村委員 関連して私も聞きたかったんですけど、毎年放流していますね。ほとるを飛ばそう会も大変苦勞していますもんね、小学校でね。緑地のほうでやっているんですけど、今皆さんがおっしゃったようにカワニナは一応生息する状況なわけでしょう。放流して、実際に自然発生はいくらかしているんですか。

○山本魅力創造担当係長 昨年、ゲンジボタルを放流して、今年は10から15匹ぐらいは飛んでいるという状況を確認しています。

○木村委員 それは年越えて生息しているわけですか。

○山本魅力創造担当係長 年を越えて今年も10から15匹ぐらい飛んでいるという状況です。

○木村委員 園児が放流しているのを見たことあるけれども、ホタルが生息しやすいように、手を入れて、環境を整えたりはしているんですか。

○山本魅力創造担当係長 実際今は幼虫を放流してという状況だけです。

○木村委員 水質的には何か改良している、してない。

○山本魅力創造担当係長 水質の改良はしていません。公園利用者の利用の制限はできないので、利用制限はしない範囲でどこまで環境整備ができるのかを今後、公園と調整していきたいということです。

○木村委員 確かに縛りがある。カワニナが生息しても、緑地って野鳥がたくさんいる、ある面では野鳥がいろいろいるというところがまた魅力になっている。だけど鳥はカワニナを食べてしまう、そういうところがある。ちょっとその辺でホタルが本当に生息して自然発生するような環境にしている流れで、最終的にはたくさん発生する状況ができれば最高だと思いますけど、非常に難しいところもありますね。

○山本魅力創造担当係長 ゲンジボタルであったり、今年はヘイケボタルを園児さんと放流したんですけども、ゲンジボタル、ヘイケボタル含めて、何回か放流して、どこがよかったのか、どこが悪かったのかという要素を見ていきながら、試行錯誤し

ながら、定着を図っていく必要があります。

○佐々木委員 鶴見小学校もあまりね。でも一生懸命世話している人がね。

○柴田委員 実際に世話している人は大変ですね。

○田中（潔）委員 何百匹と飛んでいたら感動しますよ。

○木村委員 私会長やっているときに、咲くやこの花館でホタルをできないのかということ聞いたことがあるんです。あそこでしたら鳥が来ないですから。東京で、それがちゃんとできているところがあるのですよ、咲くやこの花館みたいところで、名前をちょっと忘れましたが、そこはホタルの時期になったら会館の中で、ばあっとホタルが飛ぶ。それをちょっと聞いて、そこでできないかということでしたけれども、やっぱり咲くやこの花館は、南洋植物やいろいろな世界の植物があるんですよね。環境が変わってしまうということで、それはだめだと言われたんですけどね、難しいですね。

○大原副部長 ほかに何かご質問。お願いします。

○佐々木委員 皆さんのお手元にこの広報11月号ありますよね。今回は、種から育てる地域の花づくり活動を結構たくさん載せてもらいまして、皆さん多分、見られたと思います。裏面もね、詳しく掲載していただいて。これでどうですか、何か反応ありましたか。

○山本魅力創造担当係長 やはり広報紙を見ていただいて、興味を持たれていらっしゃる方からお問い合わせがございまして、参加できるときに参加をお願いしますということでご案内させていただいているんですけども、引き続き、講習会などを通じて新たなボランティアが増えるようにしていきたいと思っています。

○佐々木委員 今までいろいろ話させてもらっていても、案外皆さんご存じなくて、今回こうして掲載してですね、これでいいわと私も思いました。また皆さん、どれぐらい電話で問い合わせをしてくれたんだろうと思ったんですけどね。花が好きでも自分の家でできない人、そういう人もやっぱりいらっしゃいますのでね。またそれを今

度はグレードアップして子どもと一緒にという、またワンランク上に上がってきますしね、すごくよかったと思います。ありがとうございました。

○山本魅力創造担当係長 ありがとうございます。

○田中（潔）委員 もう1ついいですか。佐藤さんの提案が多かったと思うんですけど、シャトルバスですね、ありがとうございます。あの辺のどうですか、利用者というのは。

○大川魅力創造担当係長 一番区民の皆さんがご参加なさるイベントで試行実施をしたほうがいいだろうということもありまして、区民まつりでさせていただいたんです。今津・榎本ルート、茨田東・茨田ルート、2つのルートを50人乗りの大型バスを巡回する形で、大体1時間に1本ぐらいの感じで行き来できるような内容にしたんですけれども、一応、今津・榎本ルートで利用者総数130名、茨田東・茨田ルートで80名ということで、計210名の方にご利用いただきました。その210名のうち、70歳以上の高齢者の方が69名ということで33%、小さなお子様連れのご家族とか子育て層が87名、41%、あと50歳代・60歳代の方々が54名の26%ということだったんです。この70歳以上の高齢者69名のうち、アンケートをとらせていただきました回答の中で、普段鶴見緑地に車・電車・バス・自転車、何らかの交通手段がないと答えられた方は17名、子ども連れのご家族62名のうち同じく普段交通手段がないと答えられた方が8名ということで合計25名。全利用者210名のうちの12%の方が普段緑地に行く交通手段がないと答えられたということなんです。このシャトルバスの運行に要した経費は約18万6,000円、これを全利用者210名で割ると1人当たり885円ということになるんですが、70歳以上の高齢者と子ども連れのご家族で普段緑地に行く手段がないと答えられている25名で割ると、1人当たり7,440円ということになってしまいます。

○佐々木委員 タクシーで飛ばすより高くなっていますね。初めてのことだから皆さんあまり周知ができてなかったでしょう、それもあります。決まっていたら今度は、

またあんなのがあるよって言われれば。でも、そんなたびたびその金額じゃできませんな。

○大川魅力創造担当係長 本当にこれがあったから、今回初めて行けるわと言ってくださった方も中にはいらっしやって、そういう方のお声を聞くと、ああそうかとすごくうれしいんですけど、普段は何らかの形で、車であったり自転車であったり乗り合いでタクシーで行かれたりという、何らかの交通手段があるという方がやっぱりほとんどの状態でした。でもこれもやってみないとニーズがわからないですし、だから試行運行させていただいてよかったなというふうに思っています。ただ、やはり検証の結果をきちっと受けとめて、どうしていくべきかというのは一定、区として判断をしていかなければならないと思っております。

また次の全体会的时候にお話をさせていただくことになるかと思うんですけど。

○大原副部長 私からもう1件だけいいですか。区役所力の強化の件ですけど、多分やられている分で書かれてないのかもわからないですけど、コンプライアンス研修に関してなんですが、例えば28年、29年度に関してはどのような予定があるのかどうかということと、私も近所の人からもちょっと聞くことがあって、別にご対応が悪いとかそういうことじゃなくて、最近はアルバイトの方も入っておられるというのを聞いたので、そういった意味で、コンプライアンス的なところというのはやはり強化は必要なんじゃないかなというのはよく声を聞くんです。そういう意味で、区役所ではどのような対応とられているかというのをちょっと教えていただければと。

○石川総務課担当係長 コンプライアンス研修は27年度は記載させていただいておりました。28年度、29年度についても引き続き実施する予定となっております。

○大原副部長 そうですよ。当たり前なので書いてないって感じですよ。そうかなとは思ったんですけど、はい、わかりました。

○石川総務課担当係長 アルバイトの方には研修とまではいっていませんが、採用

時には必ずコンプライアンスの説明をさせていただいて、個人情報について口外してはいけないことなどきっちりお伝えさせていただいています。

○大原副部長　　すみません。細かいこと言って。

○石川総務課担当係長　　いえ。ありがとうございます。

○猿渡委員　　僕も幾つか言わせてください。

まず、ホタルの話。非常に興味深いというか、今やっぱり世界規模で異常気象だなんだと言っているときに、指標として多分、ホタルって一番わかりやすい生き物じゃないのかなと。ホタルが生きづらいところに人間は果たして生きていけるのかどうかというような、ものすごく人と密着した形の指標じゃないのかなと思うのですね。国内で割とやられている活動ではなかろうかと思いますが、それを何年、これまでやられてきて、これからどうされようかというところが非常に気になる場所なんですけど、やはりそういう気象の面でありますとか、野鳥の面でありますとか、やっぱりこって自然が相手なのだろうなと。恐らくかなり自然に近い状態で鶴見緑地が保たれているから、考えづらい部分があるのでしょうけれども、それが自分たちで生態系を維持して生態系のサイクルをもって、自分たちで発生して種を残してというような活動になるのには、恐らく数十年単位の時間が必要ではないのかなと。でも、やり続けるところにもものすごい大きな意義があって、単年度で見れば今年は育たなかったとかいう年も恐らくあるでしょうし、何せ自然が相手の部分ですので、我々大人がまずは性根を据えて、子どもたちと自然というものを考えていくのに必要な教材というような考え方をするのであれば、お金がかかるとかいう話になるとうーんとなりますけど、何かそこで続けたいというか、続けたいいけないような気がします。もちろんホタルを放流して、そこで何かしら自然の反応が起きてくるのに、人間の手が入るというのも非常におこがましい話なのかもしれないですけども、時間をかけてやっていく必要がある取組みではないのかなと。これからますます自然環境が異様になっていくというか、気候も含めて、よくなっていくというよりは恐らく厳しくなっていくので、

その中において1人でも多くの子どもたちが、自分たちが生きていく環境、このホテルが生きていく環境もイコールなんだというようなことを学べたらいいのかなと思ったので、長時間かけて見ていく取組みかもしれないなという気がしました。

それと、さらっと言われたんですけども、関西Walkerに鶴見区のイベントがそんな簡単に載らないですよ、というか見たことがないんですよ、区内のイベントがって。

○大川魅力創造担当係長 そんなに大きくはないですよ。こんなですけどね。

○猿渡委員 載ったこととか取り上げられたことが、僕は第一歩とかすばらしいのではなかろうかと。押んで頼んで載せてもらう雑誌じゃないからです。広告として打って記事載せてもらう雑誌ではなくて、あちら側がチョイスして探し出して載せる雑誌だからこそ価値があるのかなと。旅行本自体、販売数はそんなに伸びてないそうですけれども、どこか行こうと思ったらそのホームページを見るとか、Webのほうで使われている方が非常に多いようですので、非常に値打ちのあることではないのかなと。

加えて先日、ウォッチャーではないですけども、子どもを連れて散歩がてらにワールドフェスタに行かせていただきましたが、子どもたちの反応は非常に素直で、いろんな本物に触れられて非常によかったと思ってます。そういう機会が非常に身近に起きていることを、それこそ広告媒体を使って広く区民に周知できたほうがいいんだろうなと。もっと出店が多いほうが恐らくお祭りに近づいていくんだろうなというのは参加して思ったことです。でも、十分に子どもたちの心は打てるものになっているのは、一緒に参加してレンコンカレーパンを食べながらゴスペルのステージとフラダンスを見る小学生なんかほぼいないわけですよ。シンガーさんの生歌をこの距離でカレーパン片手に聞ける機会も、多分彼らは生まれて初めてそういう機会に接したと思うんです。その中で、すごい声やな、マイクこないなってるのに聞こえるんやと、こののをわあわあしゃべりながらうれしそうに歩いて帰ってるのに、何か非常にうれ

しかったというか、子どもらの心にやっぱり動いたんやなと思うとすごく、おこづかい300円持って来いよ言うて行ったんですけど、なかなか本物感がすごかったですね。何て言うんでしょう、物すごいことやと思うんです、それって。なかなか本物に触れる機会は非常に限られてて、なかなかないんです。それを本物に触れさせたくて、いろいろ選んで探してするんですよね。その中で、えらいぽっと出てきたな本物が、という驚きですね。アートにしてもそうですし、見せていただいて、腕組みしてこれ何に見えるみたいな話が高学年の子たちとできたりとかという機会は、そうそう歩いて行ける距離ではなかったかなと思っていて、それは非常にありがたかったです。今後にもぜひ期待してますのでよろしく願いいたします。

○大川魅力創造担当係長 ありがとうございます。

○田中（潔）委員 私ばかりで、もう1ついいですか。今のお話なんですけどね、ワールドフェスタ、とってもよかったです。あれ4,000人ぐらい来たって。それで私ね、今フラダンスとおっしゃった、生歌ですね、あの舞台設定が物すごいよかったです。下にじゅうたんみたいなのを敷かれてですね、だからフラダンスも踊りやすかったと思います。やっぱり舞台設定って物すごい大事やなと。音響の効果もありますしね、ちょうどあれぐらいがいい。あれより大きくなったらホールみたいにしないといけないと思うんですよ。そんなことでね、非常にうまく演出されたと思います。

それで、意見言いたいんだけど、先ほど鶴見緑地の国際庭園の活用ということで、28年度から改修工事が継続されている。どこまで鶴見区として要望できるかわかりませんが、舞台できるところというのがいっぱいありますね。池に面したところとか、ああいうところを何か所か改修を重点的にやっていただいて、もちろん鶴見区のイベントだけではなくて、コスプレをやるとかいろいろありますよね。ああいうのであっちこっちから鶴見緑地へ来てもらおうと。そうしたらもっともっと魅力のある鶴見緑地になっていくと思うんです。ぜひ要望を出してほしいんです。一つ一つの舞台設定ですね、ばらっとお金をばらまくのではなくて、とりあえずそういうところをつ

くっていついていただくと、ここへね、ぜひ言っていたきたいと思います。

○大川魅力創造担当係長 ありがとうございます。

○大原副部会長 全部じゃなくても幾つかということですね。

○田中（潔）委員 そうです。拠点というんですかね、もうちょっと言わせてもらったら、あんまり長くなったらいかんね、茶室ですね、あそこもよかった。残念ながらあそこは集客なかった。

○大川魅力創造担当係長 お昼からちょっと伸びだしたかなという感じで、もう少し人の流れをつくれたらよかったですね。

○田中（潔）委員 かわいそうやった。そやけどあの展示とドラムと生歌ね、すごくよかった。あんな目の前で、プロだと思いますけども聞かせてもらったのは私も久しぶりで感動しました。本当にあそこもいいと思いました。

それから今の池のところ、あれもいいと思いますよ。あそこはちょっと整理していただいたらいい舞台になりますよ。ちょっと木を切らなアカんと思いますけど。残念ながら。あれ狭いからもうちょっと木を切って、ど真ん中に楓みたいな木があるからね、あれ切ってあげたら座ってできるように、円形の舞台になると思います。

○大川魅力創造担当係長 ありがとうございます。

○木村委員 あそこの茶室の横に滝みたいのところ流れてますけれども、あそこの水って何とかならないのでしょうか。あそこだけちょっと濁った水を繰り返し繰り返し流してるでしょう。あれっでもうちょっとどうかならないものか。何か、本当に泥水が流れてきてるような感じですけど、いつ見てもあのままですもんね。あそこの池のそこにはアオサギもいるけど、写真撮ったらものすごくいいショットになるんでしょうけど、ちょっと水が、循環してるわけで、あれ何とかならないのかなと思って。いつもそう思って見てるんですけど、この際、一遍もっときれいに。せっかくホテルを成育しようかと言っても、あそこの水だけはちょっと本当に、見ててですね。

○大川魅力創造担当係長 またちょっと機会を捉えてそういうこともいろいろ働き

かけていきたいと思えます。

○大原副部長 取り急ぎたくさんのご意見いただいたんですけども、また区役所のほうも検討のほうよろしく願いいたします。

そうしたら取り急ぎ、部会の今回の第1段と言いますか、このあとにまたディスカッションもあるんですけども、とりあえず予定されている議題は全て終了いたしましたので、皆様の闊達なご意見どうもありがとうございました。

最後に、事務局のほうから連絡事項がございましたらよろしく願いいたします。

○石川総務課担当係長 多くの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。今後の予定ですけども、本日は平成29年度の具体的取組みについてご説明をさせていただきましたけれども、次回12月に開催を予定しております全体会で、鶴見区運営方針素案としてまとめたものにつきましてご意見を頂戴したいと思っております。

日程につきましては、また改めて調整をさせていただきたいと思えますので、ご協力よろしく願いいたします。

○柴田委員 12月は大体の予定は立っているの。

○石川総務課担当係長 中旬ぐらいで考えております。

○大原副部長 皆さん、それでは移動のほうよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

閉会 20時01分